



旭川市立神居東小学校 学校だより

# ぬくもり

旭川市神居1条17丁目 Tel 62-2932

令和 2 年 6 月 10 日発行 第 2 号

## 学校が再開しました

校長 澤田 匡史

6月1日(月)より学校が再開しました。学校に子どもたちの明るい声と明るい笑顔が戻ってきたことで、学校が“呼吸”し始めました。真剣に学ぶ子どもたちの声や表情が、学校にとって教職員にとって何よりの励みです。臨時休業となつてから約1か月半の間、保護者の皆様には、家庭での学習プリントのご指導やお子様の健康観察等につきまして、ご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。学校再開にあたっては、子どもたちの健康を最優先に考え対応してまいります。ご家庭におかれましては、毎朝のお子様の検温をお願いいたします。加えて、マスクやハンカチ、ティッシュを必ず携行するようお子様にお声がけいただけると幸いです。



さて、私がかつて聞いた講演についてHPから引用して概要を掲載します。今でもあの講演会は心に焼き付いています。いつか子どもたちにも話そうと思っています。

腰塚勇人(こしづか はやと)さんは、神奈川県出身の講演家で、元中学校体育教師です。スキーでの転倒事故により首の骨を折り、首から下がまったく動かなくなってしまいました。事故をきっかけに、人生観が大きく変わったそうです。

2002年3月1日、人生を大きく変える出来事がありました。それはスキーで転んで首の骨を折ったことです。お医者さんは「多分、一生寝たきりか、よくて車椅子の生活になるでしょう」と言いました。手術は成功しましたが、1週間たっても手足は全く動きませんでした。毎日、どうやったら死ぬるか、そればかり考えていました。そんな私に生きる勇気をくれた人がいました。「何があっても、ずっと一緒にいるから」と言う奥さん。「先生、待っているから」と言う仲間と生徒。優しさと強さをもらったときでした。一人じゃない、生きなきゃって思いました。今の全てを受け入れて、いつも笑顔でいると決めました。どんなことにも「ありがとう」と言おうと決めました。そんなとき、全く動かなかった手足が事故から10日後、動き始めたのです。立ち上がれる喜び、話せる喜び、字が書け、おはしが使える喜び。当たり前だと思っていたことに、幸せと感謝を見つけました。事故から4か月後、奇跡が起きました。先生として学校に戻れました。

私は、首の骨を折るという大きな失敗をしました。しかし、周りの人々のおかげで、自分が生かされていることを実感し、生きることをやめずに、幸せになる努力を続けることができました。だから、私はこの事故に感謝しています。大切なことに気づかせてくれて「ありがとう」。

「腰塚勇人オフィシャルサイト」より引用

腰塚さんの言葉を紹介して終わりにします。

口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。

耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。

目は、人のよいところを見るために使おう。

手足は、人を助けるために使おう。

心は、人の痛みがわかるために使おう。

「5つの誓い」より

## 分散登校 そして 通常登校

4月20日(月)から始まった、新型コロナウイルス感染症予防のための臨時休校でしたが、5月18日(月)と21日(木)に短時間の学習で体慣らしのための分散登校Aが始まり、5月25日(月)からより通常に近い形の分散登校Bが行われました。いつもとは違い、学級が二つに分けられ、午前登校、午後登校があるなど、子どもたちも戸惑いを隠せない様子でした。それでも、学校には子どもたちの元気な声が響き渡り、いつもの学校らしさが少しずつ戻りつつあると実感することができました。

そして、6月1日(月)からは、いつもとほぼ変わらない形での学校生活がスタート。分散登校の時とは明らかに違い、どの子からも笑顔が満ち溢れ、学校本来の姿を取り戻してきています。とはいえ、「3密を避ける」という予防の原則から、互いに触れ合うことも、頭を寄せ合って話すこともできません。また、会話が弾み楽しいはずの給食も同一方向を向いて、話さずに食べなければなりません。誰もが感染予防の重要性を理解しつつも、これまでできたことができなくなったもどかしさを感じながらの学校生活となっています。

それもこれも、自分と自分の周りの人たちの命を守るため、今はじっと耐えるしかありません。そのような中、少しでも子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう、「密」を避けながら、何か良い方法はないか我々も知恵を出し合っているところです。今後の状況の変化によっては、保護者・地域の皆さんにも様々な形でご協力いただく場面も出てくるかもしれません。その時はどうかお力添えいただきますようお願いいたします。



「密」を避けて…

### さが 子どもたちの性…

通常登校が始まり、元気いっぱいの子もたち。これまで、なかなか会えなかった友達にやっと会えた喜びから、絡み合ったり、肩を組み合ったり…。また、遊んでいるとついつい夢中になって、密状態になることも…。友達に会うとくっつくのは、子どもの性なのかもしれません。そうはいても、現在のコロナ禍にあって、許される状況ではありませんので、その度に離れるように伝えたり、なぜだめなのか、どうすることが大事なのかを考えさせたりしています。今回の新型コロナウイルス感染症だけに限らず、自分の身を自分で守るためには、状況を見極め、判断し、行動をコントロールすることがとても大切になってきます。このことについて、学校でも継続して指導していきませんが、ご家庭でもお子さんの年齢に合わせて、ぜひお話ししていただきたいと思います。

### 夏休みが…

先日もお伝えしたとおり、1～4年生は8月4日(火)から、5・6年生は8月6日(木)から夏休みとなります。いつもの夏休みより短く、さらには、これまでの遅れを少しでも取り戻すための学習が待っているのですから、子どもたちはさぞがっかりしていることでしょう。しかし、時には現状を受けとめ、前を向いて歩くことも大切です…。その分、短い夏休みを思いっきり楽しませてあげてください。

### 6月の行事

行事予定については、不特定多数の人に神居東小学校で「いつ」「何があるか」を知らせることになり、悪意のある人を不要に呼び込む可能性を否定できないことから、ホームページ上で掲載しないこととしましたので、ご了承くださいませようをお願いいたします。